



田中るみ子の活動レポート 9月議会報告

～誰もが生きやすいまちに～

みなさまのご意見、現場の声を
お聞かせください。
TEL・FAX：0940-37-0700
Email：munakata@fnet.gr.jp



メール用
QRコード



一般質問

自然災害の被害を軽減する対策の強化を

8月の記録的な豪雨では、市内で道路の冠水や住宅・店舗の浸水、河川の越水、土砂崩れなど多大な被害がでました。農業にも大きな打撃を与えています。市民が安心して住み続けるために、今回の対応と災害対策について質問しました。

○避難所を身近に

市民ネットでは昨年、防災アンケートを実施しました。その中で、「指定避難所が遠くて行けない」という声が多くありました。特に、昨年度から段階的な避難所開設となり、最初に開設される避難所は5か所になりました。そのため、歩いて行ける身近な公民館を避難所として利用できないか質問し、市から、今回、公民館を避難所にした地域があり、今後、地域とも協議して進めたいと回答がありました。

○防災ホームページ

市の防災ホームページでは、道路の冠水や河川の状況が見られる防災ライブカメラや避難所情報や通行止めなどの道路状況を見ることができます。今回の災害時は多くの市民がアクセスし情報を得ていたようですが、見るためにはいくつも画面を開かないと見られないので、防災専用のアプリ化を提案しました。



床上浸水した市民ネットの事務所

○住宅等の浸水対策

田熊地区の住民から「道路が冠水し『冠水注意』の表示が出て、トラック等大型車が通行したので、波が立ち、家への浸水がひどくなった。早く通行止めにして欲しかった」と強い要望がありました。警察・県土木事務所と協議し、早い段階で通行止めにするように要望しました。

○地震、津波のときの避難

西山断層による地震の際には、5mの津波が予想されます。海に近い、「道の駅むなかた」は、市外からの利用者が多くいます。そのため、地震が起こったときの避難計画を質問しました。避難計画としては、原則徒歩で、まずは高台に逃げることになっており、近くの辻八幡宮に誘導すると回答がありました。

○災害時の人工呼吸器の電源

在宅で人工呼吸器を使用している人にとって、災害時の停電は命に関わります。市は、停電が長引く場合は、給電車や蓄電池等の手配をするということでしたが、災害の規模や道路状況などによっては、手配できない場合も考えられます。そのため、福岡県が人工呼吸器の非常用電源購入費の補助を行っているので、本市でも補助金を導入することを要望しました。

自然災害は年々甚大化しています。最悪を想定して災害に備えること、そして、誰もが安心して暮らせる災害に強いまちづくりをさらに進めることを要望しました。

ここに注目！

★令和6年度 宗像市一般会計決算(歳入:約486.2億円、歳出:約469.4億円)

に意見をつけて市民ネットは賛成

評価できること

- ・全市立学校の体育館に空調をつけたこと
- ・学校給食の物価高騰分を補助し、保護者の負担を軽減したこと
- ・ヤングケアラーコーディネーターを配置し、相談支援体制を強化したこと
- ・産前・産後ヘルパー派遣が始まったこと

課題

- ・介護職員の人材不足が深刻な中、現場に対する対策が十分ではなかったこと



決算で注目すべきは経常収支比率

宗像市の経常収支比率 93.7%

この経常収支比率は、市の運営に必要なお金(義務的経費※)が収入に占める割合を表します。比率が低い程、自由に使えるお金があるということになります。

宗像市は90.0%を目標にしていますが、前年度より、0.1%増えており、余裕がなくなっていることがわかります。

※人件費や社会保障としての扶助費や借金である公債費など

基金には使途がある

基金には、財政調整基金、減債基金、安全安心まちづくり基金(令和6年度新設)、公共施設等維持更新基金などいろいろな種類があります。これらの基金には、それぞれに目的とルールが決まっており、勝手な使い方は出来ません。

令和6年度末の財政調整基金は34億円です。この基金は、財源不足時の穴埋めや緊急に必要な公共事業に使われます。基金は大切な市民の貯金です。

★宗像市学童保育所の指定管理者(公募)の指定について

に意見をつけて市民ネットは賛成

意見)・学童保育の運営が指定管理者制度で良いのか

- ・その日の利用児童数に応じて支援員の数が増減されることを変更すべき
- ・毎年の指定管理者の事業評価と決算報告を議会にすることを要望



事業者: シダックス大東ヒューマンサービス株式会社

対象の学童保育所: 赤間小学校と吉武小学校以外の学童保育所